

昭
和
か
す
み
草
を
仕
事
に
。
手
に
入
れ
た
も
の
は
人
ら
し
い
時
間
。



おおやま けんいち
大山 賢一 さん(40代)
めぐみ
恵 さん(30代)

<昭和村>
かすみ草農家
(農業)
2021年 Iターン

昭和村の農家になるためにIターン

『昭和村は峠に囲まれた山間部で、標高400m~700mと冷涼な高原地帯です。その涼しい環境を活かして取り組んでいるのがカスミソウ栽培です。現在では栽培量、その質ともに日本一とも言われる「昭和かすみ草」は村の基幹産業となっています。』

人口約1,200人の村にかすみ草農家になるために2021年4月に移住してきたのは、東京生まれの大山賢一さんと埼玉県生まれの大山恵さんご夫婦。家族で昭和村に移住するきっかけ、昭和かすみ草の仕事をやってみて、昭和村に住んでみての感想など、ご自宅にお伺いして取材しました。』

取材日 2022年12月6日

移住のきっかけと農業のこと

<移住のきっかけ 賢一さん>

バスが好きで、就職先もバス会社でした。観光バスの運転は楽しかったのですが、腰に違和感を感じるようになり短距離の路線バスに転職しました。35歳の頃からいよいよ本格的に体が不調になり、「これから30年働くとして、どう生きていく道があるのか」と転職を考えるようになりました。昔、両祖父母が農家をしていたので手伝いをしたこともあり、農業は近い存在でした。その時の私には農家さんは時間に自由がきくし、土に触る仕事はいい仕事だと感じていました。細かな時間に縛られるバスの仕事をしていたので余計にそう思ったのかもかもしれません。ただ、農業の果物や野菜はモノが重くてとても出来そうになく、迷っていた時に昭和村のかすみ草に出会いました。花き栽培の認識が全くなかったので「花も農業なのか！」と衝撃を受けました(笑)

その後、コロナ禍の影響で一時は動けませんでした。ふるさと回帰支援センターや昭和村役場の方が工夫して対応してくれました。何度か日帰りで昭和村に来てみて、妻と相談して昭和村の新規就農を申し込みました。

<移住のきっかけ 恵さん>

最初、移住には正直反対でした。バスガイドを辞めて、インフォメーションの仕事をしていましたが、その仕事が好きでずっと続けたいと思っていた時期だったので。それがちょっと変わったのは出産後、家にいる時間



からです。ちょっとしたことでご近所さんトラブルに巻き込まれてしまい、産休中なのに家にいるのが本当に辛い日々を過ごしました

昭和村に何度か来るうちに、村の人がすごく優しく移住している人も多くいて、話していて安心している自分がいたのです。住む家も1戸建てだと聞いて、集合住宅の怖さから私も子どもも解放されると思い前向きに考えるようになりました。

かすみ草の仕事も見せていただき、1年目は研修で農業初心者でも教えてもらえるのも安心でした。

仕事のこと、昭和村の魅力

<昭和村での仕事>

初夏から11月までは忙しいです。特にかすみ草の収穫時期は時間が足りないくらい超忙しいです。睡眠時間を確保するために逆算して時間を調整して、日の出から動いている感じですね。繁忙期は人間らしい生活はできませんが、、、(笑)

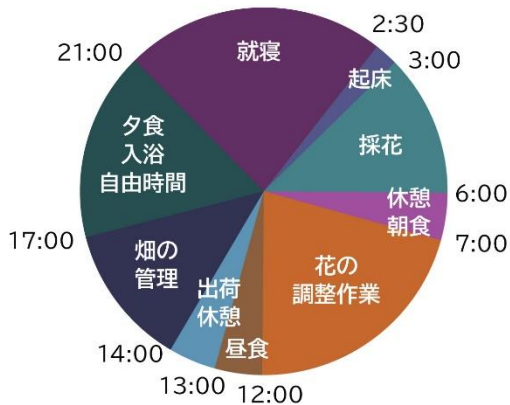
1年目のかすみ草栽培は研修でしたが、2年目の今年からは自分で経営する立場になりましたので、責任感も生まれました。今年はハウス5棟でしたが、来年には10棟に増やす予定です。

冬は村の宿泊施設の手伝いをしています。毎日では



音を気にしない古民家で

ある一日のスケジュール



ないのでのんびりできる時間もあるのですが収穫時期が忙しすぎて、収穫が終わったのんびりできる時期に入っても、お風呂に入ってご飯を食べ終わって「まだこんな時間」と感覚のズレに戸惑うことがあります。

農家さんの時間が自由になると思ったのはちょっと違いましたが、忙しい時期とのんびりできる時期のメリハリが人間らしくていいと思っています。

<昭和村の魅力>

子どもが家でも外でものびのび走り回れる環境がとていいです。人見知りだったうちの子が村の人たちと話をしている姿を見ると嬉しくなります。

昭和村は人が温かいと思います。この村は30年くらい前から織姫制度といって、からむし織の研修生を受け入れている村なので、移住者受け入れに慣れているからだと思いますがよそ者扱いはしません。村の独自ルールとかも聞いたことがありません(笑) 小さな村ですが、私たちが思っている以上に若い移住者が多いというのと、お母さんたちも地域外の方が多いので、何となく村っぽくないという雰囲気です。

雪は多いですが、その分水が美味しくて豊かです。自然が近くて、四季がはっきりしているのも魅力です。村にスーパーはないのですが、ネットで注文したものはちゃんと翌日には届くので関東に住んでいた時と一緒にですよ。2023年には博士トンネルが開通し、会津若松市に行きやすくなります。

大山さんの行動歴

賢一さん 埼玉県生まれ ⇒ 東京都(就職) ⇒ 宮城県 ⇒ 埼玉県(勤務先は東京都) ⇒ 昭和村へ
恵さん 埼玉県生まれ ⇒ 埼玉県(就職・東京都内に就職) ⇒ 昭和村へ

移住を検討している方にアドバイス

古民家なので冬は常に暖房が必要です。夏は昼間は暑いですが、朝晩は涼しく寝苦しいことはありません。



現住人口 1,174人 男性/569人 女性/605人

面積 209.46平方キロメートル

標高 海拔 466.8m(昭和村役場)

最寄駅 JR只見線「会津川口駅」

最寄IC 磐越自動車道「会津坂下IC」

保・幼・こ 認可保育所 1か所

小学校数 公立 1校

中学校数 公立 1校

高校数 なし(周辺の市町にあり)

病院数 診療所 1か所

村の特徴

会津地域の中でも山間部に位置し、人口1,100人ほどの小さな農山村である。「からむし織の里」として知られ、原材料となる高品質な「からむし」を生産している。また、宿根カスミソウも有名で、生産量が夏秋期日本一である。一見閉鎖的に見受けられるが、早くから都市から山村へ人の流れをつくるプログラムを実施しており、移住者に対して友好的な村である。

移住 サポート 窓口

昭和村役場(産業建設課)
昭和村ホームページ
<https://www.vill.showa.fukushima.jp/procedure/>
電話:0241-57-2124
メール:kankou@showavill.jp

